

1. 評価報告概要表

作成日平成21年 6月23日

【評価実施概要】

| | |
|-------|---------------------------------|
| 事業所番号 | 1070201221 |
| 法人名 | 社会福祉法人夢 |
| 事業所名 | グループホームどんぐりころころ |
| 所在地 | 高崎市綿貫町1343 (電話) 027-350-5560 |

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 群馬社会福祉評価機構 |
| 所在地 | 群馬県前橋市新前橋町13-12 |
| 訪問調査日 | 平成21年4月22日 |

【情報提供票より】(平成21年 4月 6日事業所記入)

(1)組織概要

| | | | |
|-------|---------------|--------------------|-------|
| 開設年月日 | 平成 14年 10月 1日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 15 人 | 常勤 15人 非常勤 0人 常勤換算 | 12.8人 |

(2)建物概要

| | | | |
|------|-------|------|------|
| 建物構造 | RC造り | | |
| | 2階建ての | 1階 ~ | 2階部分 |

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|-----------------|------------|--------------------|-------|
| 家賃(月額) | 30,000~31,000 円 | その他の経費(月額) | 道光熱費 実費 :リネン代60円/日 | |
| 敷金 | 有 300,000円 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 | 償却の有無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 400 円 | 昼食 | 400 円 |
| | 夕食 | 600 円 | おやつ | 100 円 |
| | 又は 1日1,500円 | | | |

(4)利用者の概要(4月 6日現在)

| | | | | | |
|-------|--------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 18名 | 男性 | 3名 | 女性 | 15名 |
| 要介護1 | 10名 | 要介護2 | 5名 | | |
| 要介護3 | 3名 | 要介護4 | 0名 | | |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 80歳 | 最低 | 74歳 | 最高 | 97歳 |

(5)協力医療機関

| | |
|---------|----------------|
| 協力医療機関名 | 医療法人社団千江会 昭和病院 |
|---------|----------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は、高崎市の南東部に位置し、近くには「群馬の森」もある静かな田園地帯にある。1階ユニットの浴室に温泉が給湯され全入居者が温泉浴を楽しめ、全居室にはトイレとシャワーが設置され何時でもシャワー浴が出来るよう配慮されている。また、入居者の希望を取り入れた献立表を作成したり、外食行事を計画的に行ったり、握り寿司の日にはカウンターを作り入居者の注文する寿司を握るなど食事を楽しむ支援をしている。災害対策にも力を注ぎ、消防署の指導を受け夜間を想定した総合訓練を年1回実施するほか自主訓練を3回実施し、隣接の病院や特別養護老人ホームの職員との協力体制も取られている。

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での主な改善課題である介護計画の見直しを行っているが、更に本人や家族、全職員等必要な関係者の意見等を反映した介護計画が作成されるよう期待する。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は、管理者と職員の2名で作成しているが、自己評価及び外部評価の目的や意義を管理者及び職員で話し合い全職員で取り組まれるよう期待する。また、評価を活かして具体的な改善に取り組まれるよう期待する。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、事業所の取り組みを報告し意見交換を行い、市職員から市が主催する行事の情報を得て入居者の外出に活かしている。今後、自己評価や外部評価の結果及び改善状況等を報告し意見交換を行い、サービス向上に取り組まれるように期待する。</p> |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>面会時に入居者の健康状態等を伝え、転倒事故等の緊急時にはその都度電話連絡している。毎月の利用料請求書と共に事業所のたよりを同封し、花見やうどん作りなどの行事報告等を行っている。平成21年4月からはアンケートも同封したり、運営推進会議に合わせ家族会を開催する等家族からの意見や要望等を聞くことに努めている。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内の祭りに招待され見物したり、実習生や体験学習を受け入れているが、地域の一人として地域活動に参加し地域住民との交流をすすめられるよう期待する。</p> |

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 法人が運営する総ての事業所に共通する理念を掲げて、サービス提供に際し入居者が安心して生活できることや個々のペースにあわせることを謳っている。 | ○ | グループホームの基本方針である「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」の目的や役割を管理者及び職員で話し合い、基本方針を踏まえた理念の見直しをされるよう期待する。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 月2回行われる勉強会で理念について話し合い、理念を基に高齢者に合わせた住み良い環境づくりや入居者に合わせた介護に取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内の祭りに招待され見物したり、実習生や体験学習生を受け入れたり、併設施設(特別養護老人ホームなど)で行われる腹話術等を見学し交流を図っている。 | ○ | 地域の一員として地域活動に参加する等地域の人々との関わりを積極的にもたれるよう期待する。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価は、管理者と職員の2名で作成している。前回外部評価を受けて、介護計画の見直しに取り組んでいる。 | ○ | 自己評価及び外部評価の目的や意義を管理者及び職員で話し合い、自己評価には職員全員で取り組まれることを期待する。また、評価を活かした改善シートを作成し、具体的な改善に取り組まれるよう期待する。 |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 民生委員や家族の代表等の出席で運営推進会議を偶数月に開催し、入退居についてや介護度、事故報告、事業所の取り組み等について報告し、意見交換を行っている。また、市職員から市が主催する各種行事の情報を得て、外出行事に活かしている。 | ○ | 自己評価及び外部評価の結果及び改善状況等を報告し、意見交換を行いサービスの向上に取り組まれるよう期待する。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|--|------|---|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 介護相談員が2ヶ月に1回来所し、話し合いを行っている。市へは事故報告をファックスで送信したり、入居の依頼を受けたり、生活保護の相談をしたりしている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 面会時に入居者の健康状態等を伝え、転倒事故等の緊急時にはその都度電話連絡をしている。利用料請求書に「どんぐりころころ便り」を同封し、花見やうどん作りなどの行事報告等を行っている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 本部の玄関に意見箱を設置している。運営推進会議に合わせ「家族会」を開催したり、平成21年4月からは利用料請求書にアンケート用紙を同封し、家族からの意見や要望等を聞くように努めている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 法人内の異動を含めて短期間で職員の異動があり、入居者のダメージを防ぐためコミュニケーションをよくするよう指導すると共に、新規採用職員にはベテラン職員をつけて指導している。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人全体の職員を対象とした研修の他に、グループホーム内の勉強会を開催している。毎日業務報告書で振り返りを行い、職員を育てる取り組みを行っている。今年度からは認知症介護実践研修を受講することとしている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域密着型サービス連絡協議会に加入していないが、大会に出席し事例発表を聞いたり、電話で他のグループホームの入居状況を確認している。 | ○ | 他のグループホームとの交流を通して、日々のサービスや職員育成に役立たれるような取り組みを期待する。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|------|--|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前の事前調査で、趣味や特技、馴染みのもの等25項目に亘り行っている。また、ホーム見学では入居者と一緒にお茶を飲み雰囲気を感じてもらおう等、本人や家族、兄弟等が納得した上で入居できるように工夫している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 経験豊富で人生の大先輩である入居者から、知らないことを教えてもらったり、家庭菜園の野菜の栽培管理等を共に行い、互いに支えあう関係を築いている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の生活の中で、悩みや心配事、希望等を聞いている。意思表示の困難な入居者には、本人の視点に立って思いを汲み取るようにしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 介護計画作成担当者がアセスメントを行い、担当職員の意見を聞いて計画書を作成している。計画作成日から数ヶ月後に家族の署名月日が記載されている。 | ○ | 本人、家族、全職員等必要な関係者の意見等を反映した介護計画が作成されるよう期待する。 |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月に1回と認定調査時に介護計画を見直しているが、退院等に伴う身体状況の変化に対する介護計画の見直しはされていない。 | ○ | 現状に即した介護計画を作成すると共に、全職員が介護計画に基づく支援をされるよう期待する。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 入居者の受診は、緊急時や家族の対応が困難な時に職員が送迎している。入居者の身体状況に応じ、法人が運営するケアハウス、特別養護老人ホームなどへ異動できる支援をしている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医の受診は原則家族対応である。入居契約の際に、家族の了解を得てホーム協力病院への変更を行っている。また、ホーム協力病院利用の場合も訪問診療を希望するか外来受診をするか家族アンケートをとり、外来受診の場合は家族対応としている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居条件は介護度3までの方と、契約時に家族に説明している。入居者が、介護度4あるいは車椅子使用や医療行為が必要となった場合等は、他の施設に移ることになっている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | ホールで失禁した場合などは、他の入居者に分らないよう誘導し、プライバシーを損ねるような言葉かけや対応をしていない。職員が職場を離れた時は、入居者の話をしないこと等を就職時に指導している。記録は、ホールの隅のカウンターで行い、書類は事務所に保管している。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 部屋で過ごしたい入居者、身体を動かすのが好きな入居者、朝から散歩したい入居者など一人ひとりの生活のペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか希望にそって支援している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 入居者の食べたいものを聞き、献立に取り入れている。握りずしの日、カウンターを作り入居者の注文する寿司を握ったり、外食を計画的に行う等、食事を楽しめるよう支援している。また、入居者と職員が共に後片付けをしたり、食事を楽しんでいる。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 各居室にシャワー設備が施され、何時でも自由にシャワー浴が出来る。1階ユニットの浴室には温泉が給湯され、2階ユニットの入居者と共同で利用している。声かけをしても入浴を拒否する入居者には、無理強いせず翌日に声かけしている。時にはホーム庭に繋る夏みかんを入れ、季節を感じて入浴できるようにしている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 入居者の個々の状態に応じ、「頂きます」の発声をしたり、洗濯物をたたんだり、食器の後片付けをしたり、テーブルを拭く等の役割を担ってもらっている。日々行うトランプやゲーム、外食行事やドライブ等、またクリスマス会では職員が仮装をしたり、カラオケ大会や軽運動会を開催し、気晴らしを行っている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 日常的に近隣にある神社へのお参りや観音山古墳や井野川サイクリング道路の散歩を行ったり、水沢観音への初詣、コスモス祭りの見物等季節に応じたドライブや外食行事など外出の機会を多く取り入れた支援をしている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 1階ユニットと2階ユニットの玄関ドアは、施錠されていない。2階ユニットへのエレベーターの使用は自由に行えるが、階段は入居者の安全確保のため施錠している。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | マニュアルや緊急連絡網を整備し、避難経路や避難場所が指定されている。消防署の指導を受け夜間を想定した総合訓練を年1回実施するほか、自主訓練を3回行っている。隣接の病院や特別養護老人ホームの職員との協力体制も取られている。また、災害用備品が備蓄されている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 体重測定を2週間に1回行い、毎食の食事量を食事摂取表に割合で記載している。水分摂取量は食事時の水分を含めて、1日1500ml確保できるように支援している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 浴室には温泉が給湯されている。廊下、食堂、居間が一体となった広い空間には、ソファが数脚とテレビが配置され居心地良く過ごせるよう工夫されている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 各居室にはトイレとシャワーが設置され、ドアは内側から施錠できるようになっている。使い慣れた生活用品や衣類、アルバムが持ち込まれ、ジュータンが敷かれた部屋もあり、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | | |